



NVIDIA RTX 製品 アップデート

NVIDIAの情報はこちら



第2世代 RTX テクノロジー

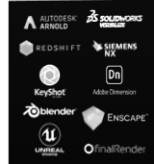
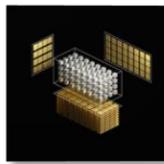
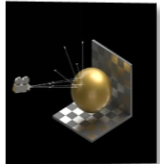
NVIDIA Ampere アーキテクチャ

第2世代 RT コア

第3世代 TENSOR コア

新たな Ampere アーキテクチャ SM

ISV エコシステム



リアルタイム レイトレーシング モーションブラー レンダリング高速化

新しい TF32 フォーマット対応 構造的スパース化の ハードウェアサポート

単精度処理の高速化 演算とグラフィックス の同時処理

70 以上の RTX 対応 プロフェッショナル アプリケーション

NVIDIA RTX GPU

前世代と比較して演算性能は1.5~5倍、GPUメモリ容量も大幅に増加。CPUで数十分かかるようなレンダリングをリアルタイムに処理します。

RTX対応デスクトップ向けGPU



NVIDIA RTX A2000 6GB

NVIDIA RTX A4000 16GB

NVIDIA RTX A5000 24GB

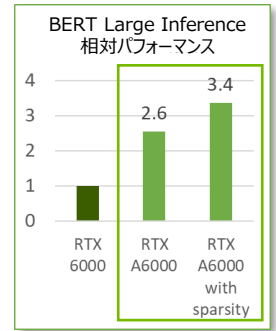
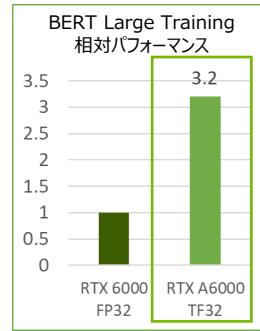
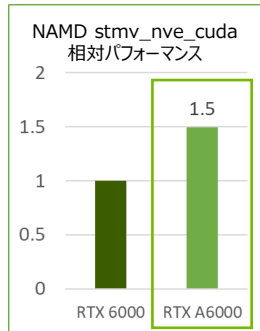
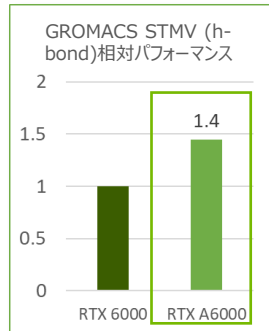
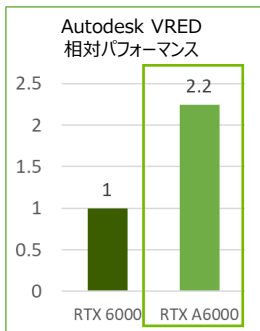
NVIDIA RTX A6000 48GB

RTX 6000 & RTX A6000 パフォーマンス比較

《レンダリング パフォーマンス》

《 HPC パフォーマンス 》

《 Deep learning パフォーマンス 》



テスト環境: AMD Ryzen 3900X, 3.8GHz [4.6GHz Turbo], NVIDIA ドライバーバージョン 460.17, GROMACS

テスト環境: AMD Ryzen 3900X, 3.8GHz [4.6GHz Turbo], NVIDIA ドライバーバージョン 460.17, NAMD

テスト環境: AMD Ryzen 3900X, 3.8GHz [4.6GHz Turbo], NVIDIA ドライバーバージョン 460.17, BERT pre-training throughput using PyTorch, phase 1 sequence length 128, RTX 6000 using FP32 precision, RTX A6000 using TF32 precision.

テスト環境: AMD Ryzen 3900X, 3.8GHz, [4.6GHz Turbo], NVIDIA ドライバーバージョン 460.17, BERT large inference throughput using TensorRT, RTX 6000: precision INT8, batch size 256, RTX A6000: precision INT8 with sparsity, batch size 256.

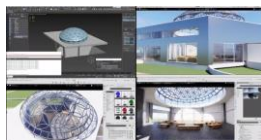
NVIDIA Omniverse

2021年11月販売開始予定!

NVIDIA Omniverse は、複数人での仮想コラボレーションとリアルタイムシミュレーションができるオープンプラットフォームです。

共有仮想空間で主要なデザインツール、アセット、プロジェクトを組み合わせ、共同反復作業により、複雑な映像ワークフローを一変します。

PHASE 1 Target



2021年~

建設業界、メディア&エンターテインメント

PHASE 2 Target



2022年以降~

製造業

PHASE 3 Target



2023年以降~

デジタルツイン空間上でのシミュレーション

NVIDIA 認定システムにワークステーションが対象になりました!

<https://www.nvidia.com/ja-jp/data-center/products/certified-systems/>



最新テクノロジーで激変するワークフロー

DX時代の悩みにお応えする最適なHPソリューションをご紹介します！



1 大容量化するデータにマシンスペック不足を感じる

- 在宅でのテレワーク、教育現場での遠隔授業の実施、オンラインセミナーなどにより、ネットワークトラフィックが急増
- データの大容量化による過去最大のパソコンへの負荷

パフォーマンス & 安定稼働



マルチコアの Xeonプロセッサ

大容量ECCメモリ



グラフィックス

冷却性



高まるワークステーションニーズ

2 必然性はあるがテレワークができない職種がある

- 事業の継続性にはテレワークが必要、しかし2021年4月～5月のテレワーク実施率は全国でわずか30.8%、地方圏では21.9%

出典：第3回 新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査令和3年6月4日 内閣府 政策統括官（経済社会システム担当）

専門業務のテレワークにベストソリューション 15年以上の実績「HP ZCentral Remote Boost」

ライセンス無償！1台からでもリモートアクセス環境の構築が可能

センター

レシーバー

画面のピクセルデータを送信

オフィスのワークステーション



自宅のデバイス

テザリング・Wi-Fiでアクセス

【注目動画】 ZCentral Remote Boostの実力

3 働く場所が多様化し円滑なコラボレーションが課題

- 新たなコラボレーション手法としてVRの活用に注目
- 設計・製造・PRの共通プラットフォーム、リアルな体験によるトレーニング、対面コミュニケーションに近いバーチャルオフィス、デジタルツインなど



レビュー



トレーニング



バーチャルオフィス



デジタルツイン

AIでDXを実現

豊富な分野別ソリューションと経験豊富なAIパートナーが導入をサポートいたします。ハードウェアだけではなく、ソフトウェアやサービスを含めた一体的なご支援が可能ですのでぜひご相談ください。

おすすめのワークステーション

HP ZBook Firefly 14 inch G8

重量 1.4kg



製品詳細・価格は[こちら](#)

- ✓ HPモバイルワークステーション史上最軽量
- ✓ 14インチ フルHD・非光沢ディスプレイ 1000cd/m²の高輝度パネル選択可能
- ✓ NVIDIA Quadro T500 (グラフィックメモリ4GB) と最新の第11世代インテル CPU (4コア8スレッド) 搭載
- ✓ WEBカメラ スライドカバー搭載

おすすめのワークステーション

HP ZCentral Remote Boost センダーに最適

HP Z2 Mini G5

背面マウント可能



- ✓ 超小型：容量2.7ℓ、重量2.18kg
- ✓ パフォーマンス：NVIDIA Quadro T1000/2000および RTX 3000選択可能
- ✓ サーバラックへの集約も可能

製品詳細・価格は[こちら](#)

HP Zcentral 4R

製品詳細・価格は[こちら](#)



- ✓ アップグレードが容易な1UラックWS
- ✓ 電源675W電源モジュールを2基搭載、冗長化もしくは直列接続で1350Wの大容量電源としても可能

おすすめのVRソリューション

HP Reverb G2 VR Headset



解像度 4K



製品詳細・価格は[こちら](#)

- ✓ 業界トップクラス4K解像度
- ✓ 軽量(約500g)、大きなフェイスクッションで長時間利用の負担を軽減
- ✓ 外部センサー不要で設置が簡単
- ✓ 税抜き59,800円で高いプライスパフォーマンス
- ✓ VRマシンとヘッドマウントディスプレイをワンストップサポート



制作日：2021年10月27日

HPワークステーションの情報は[こちら](#)

<https://jp.ext.hp.com/workstations/>

【お問い合わせ先】